

鶏頂山～釈迦ヶ岳 山行報告

【山城】 那須・塩原連峰

【コース】 西口登山口～鶏頂山～釈迦ヶ岳～西口登山口

【日時】 平成29年10月5日（金） 日帰り

【参加者】 CL鈴木憲二 鈴木愛子（記録）

【コースタイム】

- 10/5（木） 那須塩原市役所塩原支所の駐車場で仮眠
- 10/6（金） 那須塩原市役所塩原支所の駐車場発 4:40⇒日塩もみじライン⇒西口登山口
5:15 着 5:35 登山開始⇒弁天沼→鶏頂山 7:30 着 7:50 発→釈迦ヶ岳 9:00 着
9:10 発→弁天沼→西口登山口 11:00 着 11:20 発⇒日塩もみじライン⇒
宇都宮⇒帰葉

【記録】

○10/5（木）

年に1回、夫の兄弟との旅行があり、（兄夫婦と妹夫婦と一緒に）、今年は10月4日～5日日光市の旅であった。せっかく日光まで行くのだから、兄弟たちと別れてから、日光の近くの山を登って来ようという事になり、鶏頂山と釈迦ヶ岳を登って来ようということになった。

5日、兄弟と別れてから、日塩もみじラインを走り、終点の出た所的那須塩原市役所塩原支所の駐車場で仮眠をした。駐車場の一角に人感の電気がつき、きれいに掃除されているトイレがある事が嬉しかった。

○10/6（金） 天気 曇り後ガス深し 風強し

那須塩原市役所塩原支所の駐車場発 4:40。また日塩もみじラインを走り、途中にある鶏頂山の西口登山口に向かう。西口登山口を 5:35 出発。30分位歩くと、枯木沼に着く。沼ではなく湿原化していて、木道の板があちこちで破損していて、「危険 立ち入り禁止」と書いてある黄色テープはあって、入れないようになっていたが、無視して湿原に入り、湿原を一周する。湿原はオレンジ色に草紅葉していて綺麗であった。まだウメバチソウの花が何本も咲いていて可愛かった。本によると、湿原の周りの木々も紅葉すると綺麗と書いてあったが、ここは未だ全然紅葉していなかった。

更に歩を進め、弁天沼に着く。鶏頂山は1700年前に開山された霊山で、今も登拝する人がいる由、だからか、弁天沼には「栄明靈神碑」が立っていて、鳥居と鐘と祠があった。沼は小さくて綺麗ではなかった。

更に歩を進めると、稜線分岐に出た。右は鶏頂山方面、左は釈迦ヶ岳方面である。先に鶏頂山に向かう。稜線に出る前は紅葉していなかったが、鶏頂山の頂上に向かうまでの登山道の両脇は赤や黄色に色づいた木々が何本もあり綺麗であった。

急登が続き、頂上着 7:30。頂上に神社があった。手を合わせ登山の無事をお願いした。頂上からは那須や日光の山々が見えたが遠くの山々は雲の中であった。

しばし眺めを楽しみ、先ほどの稜線分岐まで戻る。そしてそのまま真っすぐ釈迦ヶ岳方面に進む。その頃はガスが深くなり、風も強くなり、周りの山々は何も見えなくなってしまった。分岐から頂上までは、鶏頂山より、赤や黄色に染まった木々が沢山あり綺麗であった。太陽の光があった

ら、もっと綺麗だろうにな、と思いながら歩く。急な登りが続き、釈迦ヶ岳頂上着9：00。
晴れていれば、展望が良いだろうに、ガスが深くて何も見えず残念であった。頂上には、優しい顔
の釈迦如来像が鎮座していた。登山の無事と家族の健康をお願いした。
風も強かったので、記念写真を撮り、早々に下山する。往路を辿る。途中、雨がポツポツ落ちてき
た時があったが、すぐに止み、カッパを着ることもなく、駐車してある西口登山口に11：00に
着くことが出来、良かった。

天気予報が曇り後雨ということと、平日であった為か、出会った人は1パーティ2人だけであっ
た。ガスが深く、風が強く眺望が良くなかったことは残念であったが、静かな山旅を楽しめ、紅葉
が綺麗で、まあまあ良い山行であった。



枯木沼にて



弁天沼のほとり



鶏頂山頂上にて



鶏頂山の稜線からの釈迦ヶ岳



釈迦ヶ岳の稜線の紅葉



釈迦ヶ岳の頂上にて